

山善健康保険組合より がん自己検診のお知らせ

本年度も、皆様方の健康管理のお手伝いとして、
がん検診を下記の通り実施いたします。
この機会にぜひご受診ください。

WEB申込→
こちらから



自宅で簡単・便利

検査が自宅にやってくる！

忙しくて
検診を
受けてない

採取する
タイミングが
難しい

病院に
行くのが
面倒

という方に
おすすめです

検査項目と検査費用

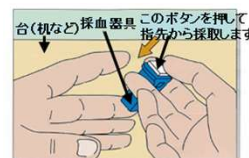
費用	検査項目	検査方法	注意事項
無料	子宮頸がん	細胞診	妊娠中の方は申込みできません。
	大腸がん	便潜血検査	
	ピロリ菌	※血液検査	※注意事項参照
	前立腺がん	※血液検査	50歳以上の方が受診できます。 ※★注意事項参照
有料	HPV検査セット	細胞診とHPV検査	妊娠中の方は申込みできません。 自己負担金6,060円が必要です。

※血液検査の注意事項

血液は、専用の器具を使って 指先から採取します。特定の疾患の治療中で、薬剤（ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等）を服用し、止血機能が低下している方は、申込みできません。

★前立腺がん検診の注意事項

前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方、特定薬物（抗男性ホルモン剤など）使用中の方、長年寝たきりになっている方は正確な検査結果が出ない場合があります。



<血液採取の図>

- 対象者** 27歳以上の被保険者および被扶養配偶者（家族）。
前立腺がん検診は50歳以上の男性。
*ピロリ菌検査：これまでにこの検査を受けた方は再度受診できません。
- 検診費用** 全額健康保険組合が負担いたします。
※HPV検査セットにつきましては、下記の自己負担金が発生します。お申込後、検査機関より振込用紙が送付されますので、各自入金してください。入金確認後、器具が送付されます。
HPV検査セット自己負担金 6,060円（消費税・振込手数料含む）
- 申込方法** 右の二次元コードまたは下記URLからお申込み下さい。
<https://f.msgs.jp/n/form/taq/bT-TxzMhhWUyDnQ38N2V9>
- 申込締切日** 2026年9月30日（水）
- 器具の送付** 申込後、約2週間で検査機関より申込時の住所宛に問診票と採取器具が届きます。
- 返送締切日** 2026年11月30日（月）
問診票と採取した器具を同封の封筒に入れて返送してください。（切手不要）
- 検査結果** 検査の結果は、検体到着後約2週間で申込者宛に郵送されます。
- 検査機関** 〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550メスブピル内
メスブ細胞検査研究所 TEL(075)231-2230



※個人情報の取扱いについて

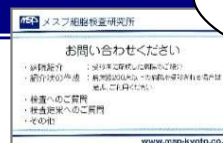
受診する方の個人情報は本検診を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾を得ず第三者に提供・開示することはありません。検査結果は一括して検査機関から当健保に報告を受け、結果によっては産業医・保健師に開示し、保健指導のために利用させていただきます。

注意 事項

- ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
- ・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。要精密、陽性の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
- ・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう

検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介します。
紹介状の作成（無料）も行っていますので、お気軽に検査機関にお問い合わせください。



受診後も
安心！

大腸がん

重要!

早期発見・早期治療によりほぼ100%治ります!

◆大腸がんは誰にでもかかるリスクがあります。

▶最新の予測

がん罹患者数

第1位

がんでの死亡原因

女性 第1位

男性 第2位

出典:国立がん研究センターがん情報サービス: 最新のがん統計予測



子宮頸がん(細胞診)

定期的な検査で予防できます!

子宮頸がんはHPV感染から5~10年以上かけて、一部ががんへと移行します。



定期的な検診を受ければ、ほぼ100%予防できます。これは、がんになる前の段階で発見することができるからです。

検査器具
専用のタンポン状の器具で子宮頸頭の細胞を自己採取します。



HPV検査セット

細胞診とHPV検査の併用で女性にもっと安心を!

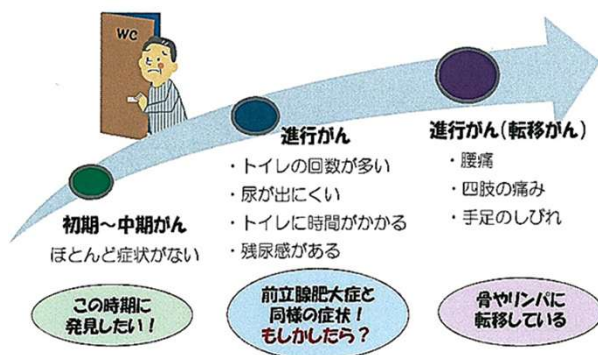
子宮頸がんを引き起こす14種類のハイリスク型HPV(ヒトパピローマウイルス)への感染の有無を調べる検査です。綿棒様の器具で採取します。細胞診との併用で、がんになる段階の発見率が飛躍的に上がり、子宮頸がんへの不安を軽減できます。(HPV検査分の費用は自己負担です。細胞診分は健保が負担)

前立腺がん

急増! 男性の予測がん罹患数:第1位!



自覚症状がない時に早期発見!



50歳を過ぎたら年に一度は検診を!

前立腺がんは サイレントキラー!と言われ、初期には症状がほとんど出ません。

がんの症状が出てから診断がついた場合には、20~30%の方が「進行がん・転移がん」の状態です。

血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。数値が高い場合は「前立腺がん」「前立腺肥大症」「前立腺炎」などのリスクがあります。

ピロリ菌

除菌は早めが効果的! ピロリ菌除菌でがん予防!

胃がんの発生に強く関連することが明らかになっているピロリ菌感染の有無を調べます。

ピロリ菌は、胃に住む細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。大人になって感染することはほとんどありませんので、1度検査をして除菌をすれば胃がんへのリスクが低くなります。

胃がん発生の機序



胃がん予防としてのピロリ菌除菌治療に健康保険が使えます(ただし保険適用のためには内視鏡による確認が必須です)